

市川保健所（市川健康福祉センター）

樋口 知佳

平成28年度入庁

保健師



異動経歴

H28年採用 市川保健所

Q1 仕事の内容を教えてください。また、現在の仕事の魅力や、やりがいを感じる瞬間について教えてください。

主に小児慢性特定疾病という子供の難病に関する申請や相談業務に携わっています。窓口・電話での面接のほか、人工呼吸器や吸引等の医療的ケアがある子供の退院及び在宅療養支援のため、自宅訪問、病院・市役所等の関係機関との連携調整を行います。

仕事での関わりの中で、ご両親から「相談してよかった」と言っていたときや、同じ悩みを抱える方同士が交流する橋渡し役を担うなど地域のつながり作りに携われたときに特にやりがいを感じます。

Q2 千葉県を選んだ理由を教えてください。

前職の看護師・養護教諭の経験から、予防的介入の重要さを感じ、保健師を目指しました。県保健師を志したのは、県内の様々な場所で、多様な業務に携わることが出来る点に魅力を感じたためです。千葉県出身ではないのですが、学生時代を千葉県で過ごし、豊かな自然と人々の温かさに、他にはない魅力を感じて千葉県を志望しました。

Q3 職場の雰囲気について教えてください。

昼休み時には、会話や笑いが絶えない楽しい職場です。様々なキャリアを持つ、知識・経験が豊富な頼もしい方ばかりです。親身になって一緒に考えてもらえるので、非常に相談しやすい環境です。私自身も育児のために時短勤務中ですが、職業柄子育てに深い理解のある先輩が多く、育児をしながらでも働きやすく長く勤めることのできる職場だと感じています。

福利厚生がしっかりしておりワークライフバランスを保ちやすいです。

Q4 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

生活に則した支援を行うため、とにかくお話をよく聴き、寄り添い考えることを大切にしています。実際の生活の様子、困りごと、必要な制度等、会話を通して学ぶことがとても多いです。また、スムーズな支援のため、多岐にわたる管内資源やその窓口、利用方法について、常に情報収集することに努めています。支援に苦慮するケースでは先輩方、関係者にサポートしていただき、より良い支援方法を模索するよう心掛けています。

Q 5 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

入庁当初は行政のルールや仕組み、各種の制度等について理解が浅く、研修や講習会を受講したり、自主学習に勤しんだり、とにかく勉強！の日々でした。

相談者への声掛けの仕方や関係づくりで悩むことも多く、緊張しすぎて上手くいかないことも多々ありました。その都度プリセプターの先輩を始め、多くの先輩方にフォローや指導をいただき、何とか乗り越えることができています。毎日学び続けることが大切だと感じています。

Q 6 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

県保健師の業務は広域的かつ専門的な内容であり、支援を通して様々な分野を学ぶことが出来ること、多様な価値観、考え方に出会い成長することができる点に魅力を感じています。

Q 7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

海に、陸に、美味しいものが盛り沢山です。少し足を伸ばせば、自然を楽しめる場所やレジャースポットも数多くあります。どんな世代の方も楽しめる場所だと感じます。

Q 8 休日や退庁後などのリフレッシュ方法を教えてください。

子供とお互いに今日あったことを話したり、ゆっくりお風呂につかったり、大声で歌ったり、思いっきり遊んだりすることでリフレッシュしています。

Q 9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

「また話したい」と思っていただけ保健師でありたいです。県保健師の業務は多岐にわたる為、担当外の業務についても興味の幅を広く持ち、学んでいきたいです。

Q 10 受験者へのメッセージをお願いします。

千葉県には、多職種の方々と共に働き、成長できる土壤があります。是非、私たちと千葉県で働きませんか。



Schedule~わたしの一日~

9:00~

出勤・メールチェック

9:30~11:00

《小児慢性》申請受付・窓口及び電話での相談対応

11:00~12:00

《小児慢性》家庭訪問や事例検討会議

12:00~13:00

昼食（職場でお弁当）

13:00~14:30

《母子保健事業》講演会の企画や会議資料の作成

14:30~15:30

《小児慢性》申請事務処理

15:30~16:45

会議録、相談記録等の整理

16:45

退庁、子供のお迎え